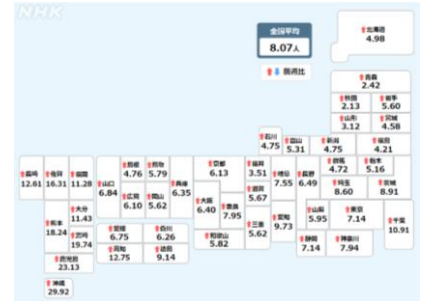




感染症対策を今一度!

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、2023年に「5類」に移行したことに伴い、新型コロナの感染状況を示すデータは、これまでの「全数把握」から、全国5000の医療機関からの報告をもとに公表する「定点把握」に変わりました。これは、1週間に確認された「1医療機関あたりの感染者数の平均値」となります。熊本県の直近「7月1日(月)から7月7日(日)まで」の1医療機関あたりの感染者数は、1



8.24人と前の週の12.21人からかなり増加しています。そう言えば、最近身近な人が「コロナ感染しました。」とか、「知り合いの家族がコロナに感染しています。」など、耳にするようになってきました。昨晩もニュースでコロナに関する報道が流れていましたが、熊本県は、沖縄>鹿児島>宮崎に次ぎ、全国4番目の感染者数に心穏やかではなくなりました。コロナの変異株も JN.1 株からその子孫株の KP3株等群雄割拠している状況といえます。しかも最新株は、過去の株に感染して獲得した中和抗体やワクチンを打つことによって獲得した中和抗体は基本的に効かないだろうと言われていています。感染者数が増えると、重症化してしまう人も増える恐れがあります。

報道によると、5類移行後最大の流行の兆しを見せ、「第11波が到来か?」と報道されています。真夏に訪れた新型コロナウイルスですが、進行の状況に応じて、ちゃんと検査を受けて、正しい診断を受けることが大切です。

他にも、熊本市では「手足口病」が新型コロナウイルスより感染者が多く、警報レベルに達しています。このような感染症については、我々が学んできた、マスクをする、三密を避ける、手洗いうがいを励行するなど、基本に立ち返っての予防対策が必要となってきます。

地域のためにできること～6年生～

「わくわく通信57号」で紹介した通り、6年生は総合的な学習の時間の「地域わくわくプロジェクト」という单元の中で、地域の方々から多くのことを学びました。そして、子供たちは、自分たちにできることとして、「むらさき公園」の清掃活動を考えました。今日の1時間目に6年生全員でむらさき公園に移動し、草取りをしました。私も子供たちの様子を見に行き、インタビューをしました。子供たちは「この公園で皆が気持ちよく遊べるように草取りをしています。低学年の頃よく遊んでいたから、😓帯西イエローの気持ちで恩返ししたいと思っています。」「皆が気持ちよく使えるように、草を全部抜くつもりで頑張ります。お父さんや友達とよく来ている公園だから、みんなが楽しく気持ちよく使って欲しいです。」「子供たちがこの公園で遊ぶときに草が生えていると嫌な思いをするから、😓イエローの気持ちで草取りをしたいと思えます。」と答え、セミの大合唱が聞こえる真夏の暑さを吹き飛ばすような爽やかな学習活動を行っていました。

